

市民第九コンサート（プレ飯山音楽祭）事業

取組に至る背景・事業の目的

飯山市における文化芸術活動の多くは中高齢者が中心で、特に芸術音楽（合唱分野）は市内中学、高校でのクラブ活動もなく、市民活動への若年層の参加も非常に少ない状況であり、今後の文化芸術活動の衰退が懸念される。平成 28、29 年と 2 回開催した市民第九コンサート事業に引き続き取り組み、市民第九コンサートと市内・近隣の合唱団、他ジャンルの団体、個人の音楽愛好家が気軽に参加できる交流会、プロによる子供向け企画、アウトリーチコンサート、ワークショップをプレ飯山音楽祭として位置づけ、仲間づくりや若者をはじめとした人材づくりなど、持続ある文化芸術活動の推進を図り、来年度、飯山音楽祭に発展させることを目的とする。

事業内容

市民の活力向上と仲間づくり、人材づくりなど持続ある文化芸術活動の展開につなげる。

- ・市民第九合唱団の活動（練習）を通じ、仲間づくり、人材づくり。5月～11月に計 17 回。団員 111 名。
- ・市民第九コンサートの開催 11 月 25 日（入場者 472 名）
- ・オープニング交流会、0 歳児から楽しめるコンサートの開催 11 月 23 日（交流会 5 団体、1 個人、入場者 150 名）、（0 歳児コンサート 入場者 215 名）
- ・清泉女学院短期大学、飯水音楽同好会の発表（11 月 24 日）
- ・なちゅら音楽祭 2018 【76 名参加】、大阪コミュニティー合唱祭参加 【20 名参加】、市民交流の実施
- ・常岩の里「ながみね」でのアウトリーチ活動 【60 名参加】



【コンサート本番の様子】

事業効果

- ① プロのオーケストラやソリストの出演により、質の高い文化芸術の提供が市民等にできた。
- ② 日頃の練習やなちゅら音楽祭 2018、大阪コミュニティー合唱祭への出演などにより、市民交流が活発に行われ、活動を通じた仲間づくりや積極的に運営に関わる機運が回を重ねるごとに増え始めた。
- ③ 文化芸術の普及や振興を目的に、普段、文化芸術に触れる機会の少ない方を対象にしたアウトリーチ活動では、高い評価をいただき、以後の開催を希望される声が多く聞かれた。
- ④ 今回公募した小学生が平成 30 年より少年少女合唱団として活動を始めた。

工夫・苦勞した点、課題、今後の取組など

様々なジャンルの音楽団体・愛好家が加わったことで多方面で評価されるようになった。活動も市民に浸透しつつあり、文化芸術に対する関心も高まった。

活動の継続を目的に企画運営に携わるスタッフを取り込み、仲間、人材づくりを拡充し、演奏家等の来飯に併せたアウトリーチ活動を引き続き実施していく。また、地元の催事への参加など、合唱団活動を通じた文化芸術の普及と市民交流の拡大に貢献していきたい。

【選定のポイント】

「プレ飯山音楽祭」として、市民協働による第九コンサートに加え、プロによる質の高い音楽の提供、アウトリーチコンサートを実施し、市民が文化芸術に親しみ学ぶ意欲を喚起し、市民交流や文化芸術への関心を深めることができた。これらの取組を飯山音楽祭へと発展させ、地域住民のさらなる活動の広がり等が期待できる。

団体名	市民第九コンサート実行委員会（飯山市）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	0 2 6 9 - 6 2 - 3 3 4 2 （飯山市公民館）	事業費	4, 5 8 1, 5 6 8 円
		支援金額	1, 2 0 0, 0 0 0 円